

県建設コンサルタント協会総会

新会長に岩井氏選出



岩井 健新会長

県建設コンサルタント協会(上野篤秀会長)は27日、鹿児島市の鹿児島東急ホテルで16年度通常総会を開き、技術研修会及び各種講習会の開催等を柱とする新年度事業計画などを決めたほか、任期満了に伴う役員改選では新会長に岩井健氏(三州技術コンサルタント)を選出した。



新役員の紹介などもあった総会
＝鹿児島市の鹿児島東急ホテルで

岩井新会長は「会員各位のご協力・ご指導をいただきながら、公益法人として地域社会発展に貢献してまいりたい」と抱負を述べた。

新年度事業計画は、①技術力向上を図るための技術研修会及び各種講習会の開催②経営研究会の開催③建コンかごしまの発行・配布④5団体共催の新年賀詞交換会などを掲げている。

新役員は次の通り(印は新任)。

会長＝岩井健▽副会長＝安水節(県建設技術コンサルタント) 福田光一(大福コンサルタント) 塚田秀隆(県アジア技術コンサルタント) 安永幸信(県国土技術コンサルタント) 藤原敏

県板金塗装工業協組鹿児島支部総会 組合組織の強化拡大を



会員限定の講習会、研修会開催などの意見が出された総会＝鹿児島市の県板金塗装工業協同組合会館で

新入会員は次の通り。

【新入会員】田中一裕(アイトハウジング) 田平徹美(田平塗装) 濱田光廣(ハマダ塗装) 廣田久徳(南コスミック)

交通遺児基金で感謝状

鹿児島市は27日、交通事故の犠牲者や交通安全を願って寄せられた寄付を積み立てている「交通遺児基金」に対し、15年10月から16年3月までに感謝状を授与。「暖かい寄付に感謝しています」と市内には35人の交通遺児があり、この子供たちが素直にのびのびと育つほしいとの願いから、年に2回見舞品として図書券を贈呈しています。寄付は有効に活用されています。

同会の牧清一郎会長(大隅機工)と橋元力氏(マルトミ工業)は「交通安全施設工事に従事している以上、交通事故が1件でも減少するようお願いを込め、これからも毎年回を重ね、交通安全を励ましていきたい」と話した。同会は、市内の交通安全施設工事に従事している会社31社で構成されており、年間事業計画の中に交通安全基金の恒例化を位置付けている。また高江昭雄同市交通安全課長は「市民の方々の善意の寄付に感謝しています」と語った。

総会では冒頭、上野会長が「公共事業予算の減少等による厳しい環境下で生き残るためには技術力と経営力の向上に努めるしかない。昨年11月、

道路・河川・砂防・橋梁・農業土木の五つの専門部会の成果発表会を初めて実施したところだが、素晴らしい研修会となった。今年度もより一層の活動推進を図ってまいり

引き続き、西久保正人氏(県久保コンサルタント)を議長に選出して議案審議に移り、15年度事業報告・収支決算、16年度事業計画・予算案などを審議した。また、

引き続き、坂之上支部長を議長に選出して議案審議に移り、15年度事業報告・収支決算、16年度事業計画・予算案等を慎重に審議、執行部の原案通り可決承認したほか、新入会員4社の紹介も行われた。

県防災研修センターが開所

県防災研修センターの良町の現地で開かれ、須賀知事ら＝始良町の現地で係員の説明を聞く須賀知事ら＝始良町の現地で

名瀬市が計画する「癒しの島体験交流施設整備事業」の第2回検討委員会が27日、名瀬市役所であり、同施設の建設予定地を大浜海浜公園プール敷地及び奥休有地に絞り、タイプは医療機能付健康増進・観光保養リゾート複合型の施設として今後作業を進めていくことを決めた。

会では、初めに同施設基本構想に携わった(株)タラシシステムジャパンの野田史取取締役が資料をもとに立地環境調査、資源調査、商圏

場、知名瀬港背後地、下水道終末処理場内の5カ所の中から、奄美の美しい海に面し名瀬市民にとって交通の便も良く観光客の要望に

建設予定地などを話し合った委員会＝名瀬市役所会議室で

県防災研修センターの良町の現地で開かれ、須賀知事ら＝始良町の現地で係員の説明を聞く須賀知事ら＝始良町の現地で